

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育経営論	教職幼小PC		17713	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	公立小教員・学校心理士			

授業の到達目標

教育制度について、法的な知識をふまえながら、その概要を把握し、経営という観点から、学校を総合的・多面的に理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

授業の概要

現在の教育システムの在り方をとらえ、学校・学級経営の様々な場面に応じて、組織を有効に活用する教育経営論を学ぶ。教育について、制度及び経営という側面から考察していく。また、学校制度や教育関係法規から、学校教育の目的や教職員の職務等を学び、教師の職責について理解を深める。

授業計画

1. 受講の心構え・授業規律・授業内容等についてのガイダンス、学校の種類と公教育

2. 教育制度の歴史と発展 1

3. 教育制度の歴史と発展 2

4. 子どもの権利と人権 1

5. 子どもの権利と人権 2

6. 教育制度を学ぶ意義 1

7. 教育制度を学ぶ意義 1

8. 教育法 1

9. 教育法 2

10. 教育の目的と目標

11. 学校の制度

12. 義務教育の制度

13. 教育の機会均等

14. 教職員の制度

15. まとめ

授業の方法

考えを書く活動とグループディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

世界各国の教育制度や教育の現状、教育法等について事前に調べた

り、レポートを作成したりすること。授業時間の2倍程度の時間を準備学修（予習・復習）に費やすこと。

課題・評価方法

平常点30%、定期試験70%

欠席について

出席については、大学が認める欠席以外考慮しない

テキスト

必要な場合授業時に指示する。

参考図書

川口洋誉・中山弘之『未来を創る 教育制度論』北樹出版

留意事項

出席と授業態度を重視する。

教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・健康			17717	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
石田 伸子	選択	2	私立幼稚園教員			

授業の到達目標

乳幼児の「健康」を守ることの必要性を感じ取り、幼児期に身につけるべき、心と身体の健康に関する内容が理解できること。また、実際に体を動かすことの楽しさ・心地よさを体験し、発達に応じた幼児の運動遊びの指導法を身につける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）を養う。

授業の概要

毎日の生活を満足感を持って楽しく充実して過ごすには健康が基本になる。健康であるということは生活上すべての活動の基本となることである。基本的な生活習慣の自立への指導から、健康な身体作り・健康管理・安全教育など、心身ともに健康な生活ができるようにするには何が必要か、発達の段階を踏まえて学習する。

授業計画

1. 健康とは何か

2. 子どもの身体の発達

3. 子どもの運動の発達

4. 乳児期の運動

5. 運動遊び(実技)①(縄、新聞紙、ボールなどを使った遊び等)

6. 運動遊び(実技)②(大縄、フープを使った遊び。用具を使わない運動遊び等)

7. 運動遊び(実技)③(運動用具一平均台、跳び箱、マット等を使った遊び等)

8. 乳幼児期の安全教育と病気の予防

9. 乳幼児期の生活習慣の形成

10. 乳幼児期の遊びと運動

11. 乳幼児期の生活と「食」

12. 領域「健康」の理解と指導法

13. 領域「健康」をめぐる現代の諸問題

指導計画について

14. 指導計画作成から保育へ

15. 保育者の役割とまとめを行ってからテストをする

授業の方法

テキストに添って講義を進めるが、事例を多くとり入れ、理解しやすいようにする。ディスカッションや実技を取り入れ、主体的に体

得していけるようにする。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法

グループ発表後は、教員によるフィードバックを行う。実技の積極性、動きなどを評価する。平常点50％ 定期試験50％とする。

欠席について

欠席数は成績評価に反映する

テキスト

演習 保育内容 健康—基礎的事項の理解と指導法—河邊貴子・吉田伊津美編著 建帛社

参考図書

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領

留意事項

実技①②③は、運動しやすい服装(名前がわかりやすい名札あるいはゼッケンをつけること)・体育館シューズ・新聞紙・縄跳び用縄を持参のこと。場所は未定。